

# Dell DL4300 アプライアンス リリースノート



# メモ、注意、警告

-  **メモ:** メモでは、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

**著作権 © 2016 Dell Inc. 無断転載を禁じます。** この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2016 – 02

Rev. A05

# 目次

<b>1 はじめに.....</b>	<b>5</b>
Dell DL4300 アプライアンスについて.....	5
Rapid Recovery について.....	5
その他の情報.....	6
ライセンスポータルでのアプライアンスの登録.....	6
<b>2 Rapid Recovery の既知の問題と制限事項.....</b>	<b>8</b>
RUU 実行後に Appliance Backup (アプライアンスのバックアップ) タブのコンテンツが欠落している.....	8
Backup Now (今すぐバックアップ) ボタンを使っても Winbackup 機能が作動しない.....	8
バックアップステータスメッセージに誤ったリンクが表示される.....	8
Google Chrome で Appliance (アプライアンス) タブのコンテンツが欠落している.....	9
RASR USB ドライブを作成するときに Appliance Backup (アプライアンスバックアップ) タブがフリーズする.....	9
Appliance Backup (アプライアンスバックアップ) タブで RASR USB ドライブを作成するときにエラーメッセージが表示される.....	9
Virtual Standby (仮想スタンバイ) タブをクリックするとエラーが表示される.....	10
アプライアンスでマウントポイントのひとつが削除された場合、ボリュームの再マウント後に DVM リポジトリを回復できない.....	10
Rapid Recovery 6.0 で作成された DVM リポジトリを AppAssure 5.4.3 にマウントできない.....	10
Rapid Recovery 6.0 へのアップグレード後、Recovery and Update Utility が再起動後に起動しない.....	11
Core を AppAssure 5.4.3 から Rapid Recovery 6.0 にアップグレードすると、Core Console が自動的に起動しない.....	11
ESX (i) ホストがオフラインのときに Rapid Recovery 6.0 がエラーを表示する.....	11
ボリュームの再マウント時にエラーが表示される.....	11
<b>3 AppAssure の既知の問題と制限事項.....</b>	<b>13</b>
RASR USB キーの作成中にエラーが表示される.....	13
Appliance (アプライアンス) タブでのポリシー表示の応答が遅い.....	13
アプライアンスのホスト名を設定してドメインに追加する時にエラーが表示される.....	13
AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) が完了しない.....	14
RASR USB ドライブが生成されていない場合、Appliance (アプライアンス) タブの状態が黄色で表示される.....	14
誤った RUU をインストールすると DL アプライアンスの機能がハングする.....	14
Appliance (アプライアンス) タブにコンテンツがない.....	14

DL アプライアンスログの収集中に「Collecting... (収集中...)」というメッセージが画面に表示されたままになる.....	15
エクスポートの実行中に、仮想スタンバイ用の VM 操作ボタンがアクティブになる.....	15
Appliance (アプライアンス) タブが機能しなくなる.....	15
非 - RAID 6 構成はお使いのアプライアンスではサポートされていません.....	15
LSI サービスが起動に失敗する.....	16
Appliance (アプライアンス) タブで、Safely Remove USB Drive (USB ドライブを安全に取り外す) オプションが動作しない場合がある.....	16
OpenManage Server Administrator の正常性ステータスが、Appliance (アプライアンス) タブに正常性ステータスと一致しない場合がある.....	16
UI がアクティブのまま一晩置くと、Appliance (アプライアンス) タブが空になる.....	17
アップグレード後、アプライアンスタブのステータスが緑色になる.....	17
リポジトリがアンマウントされたときに警告が表示されない.....	17
SATA デバイスをプロビジョニングしようとしても、エラーメッセージが表示されない.....	17
OpenManage Server Administrator の問題.....	17
OpenManage Server Administrator が正しくインストールされない.....	18
OpenManage Server Administrator がステータスのアップデートに失敗する.....	18
タスクが例外エラーで失敗する.....	18
Recovery and Update Utility の完了に時間がかかる.....	18
MD1400 エンクロージャの予想外の交換による不正確な報告.....	19
AppAssure のデスクトップショートカットがドメインユーザーに表示されない.....	19
ホスト名を変更しても Core Console ショートカットがアップデートされない.....	19
設定に NIC が選択されていないときにエラーが表示される.....	19
メッセージを閉じることができない.....	20
ライセンスキーのインストールの失敗.....	20
ライセンスキーのインストールと AppAssure アプライアンス設定ウィザードが失敗する.....	20
ライセンス設定の失敗時に誤ったメッセージが表示される.....	20
画面解像度を変更してもストレージプロビジョニングウィンドウのサイズが変わらない.....	21
<b>4 困ったときは.....</b>	<b>22</b>
デルへのお問い合わせ.....	22

## はじめに

本書では、Dell DL4300 アプライアンスについての重要な製品情報および追加情報を説明しています。本リリースには新機能として Rapid Recovery 6.0 が備わっています。

 **メモ:** 本リリースにおける新機能の詳細については、[dell.com/support/home](https://dell.com/support/home) で『Dell DL4300 Appliance Deployment Guide』（Dell DL4300 アプライアンス導入ガイド）を参照してください。

## Dell DL4300 アプライアンスについて

DL4300 アプライアンスは、AppAssure ソフトウェアを搭載した完全構成済みのバックアップアプライアンスです。DL4300 には、アプリケーションとデータの迅速なリカバリのため、ストレージ容量とスタンバイ仮想マシン (VM) が、スナップショット、レプリケーション、重複排除、および圧縮ソフトウェアと共に統合されています。

お使いのアプライアンスの動作：

- バックアップ時間を排除するために役立ちます。
- 最高 5 分ごとの頻度でスナップショットを作成します。
- 重要なサーバーを素早く復元するために、複数のスタンバイ VM を維持します。
- 統合されたインライン方式のブロックレベル重複排除および圧縮と共に、WAN レプリケーション用に最適化されたバックアップを提供します。
- DL4300 ストレージとリモート管理用の iDRAC の自動プロビジョニングのために、ウィザードベースの設定ユーティリティを提供します。

## Rapid Recovery について

Rapid Recovery はほぼゼロに近いリカバリ時間目標とリカバリポイント目標を提供します。災害復旧にとどまらず、Rapid Recovery はデータ移行および管理に対するデータソリューションも提供します。類似または異種ハードウェアへのベアメタル復元を行う柔軟性があり、バックアップは、その生成元に関わらず、物理または仮想マシンに復元することができます。Rapid Recovery では、クラウド、Dell DL シリーズのバックアップおよびリカバリアプライアンス、または希望の対応システムへのアーカイブも可能です。Rapid Recovery を使用して、冗長性とセキュリティを強化するために一つ、または複数のターゲットに複製することができます。

Rapid Recovery の詳細については、以下を参照してください。

- Dell Rapid Recovery 製品サポートウェブサイト：<https://support.software.dell.com/rapidrecovery/>。
- マニュアルウェブサイト：<https://support.software.dell.com/rapidrecovery/6.0.1/release-notes-guides>。

## その他の情報

- 📄 **メモ:** すべての Dell OpenManage マニュアルは、[dell.com/openmanagemanuals](https://dell.com/openmanagemanuals) にアクセスしてください。
- 📄 **メモ:** アップデートには他の文書の内容を差し替える情報が含まれている場合がよくあることから、[dell.com/support/home](https://dell.com/support/home) でアップデートがないかどうかを常に確認し、最初にお読みください。
- 📄 **メモ:** Dell OpenManage Server Administrator に関するマニュアルは、[dell.com/openmanage/manuals](https://dell.com/openmanage/manuals) を参照してください。

製品マニュアルには次が含まれます。

はじめに	システム機能、システムのセットアップ、および技術仕様の概要を提供します。このマニュアルもシステムに同梱されています。
オーナーズマニュアル	システムの機能、システムのトラブルシューティング方法、およびシステムコンポーネントの取り付けまたは交換方法について説明しています。
導入ガイド	AppAssure アプライアンスのハードウェア導入、および初期展開についての情報を提供します。
ユーザーズガイド	システムの設定および管理についての情報を提供します。
『OpenManage Server Administrator User's Guide』 (OpenManage Server Administrator ユーザーズガイド)	お使いのシステムを管理するための Dell OpenManage Server Administrator の使用についての情報を提供します。
『System Placemat』 (システムプレースマット)	お使いの AppAssure ソリューションにおけるハードウェアのセットアップ、およびソフトウェアのインストール方法についての情報を提供します。
『Resource Media』 (リソースメディア)	システムに付属のメディアには、OS、システム管理ソフトウェア、システムアップデート、およびシステムと同時に購入されたシステムコンポーネントに関するものを含め、システムの設定と管理用のマニュアルとツールが収録されています。
『Interoperability Guide』 (相互運用ガイド)	DL4300 アプライアンス対応のソフトウェアおよびハードウェアについての情報の他、使用時の考慮事項、推奨事項、および規則についての情報を提供します。

## ライセンスポータルでのアプライアンスの登録

1. お使いのウェブブラウザで、ご購入時に受け取った電子メールに記載されたウェブサイト URL をクリックして、ライセンスポータルに移動します。
2. **Register** (登録) ページの **E-mail Address** (電子メールアドレス) テキストボックスに、ご契約に関連する電子メールアドレスを入力します。
3. アプライアンスのライセンス番号またはサービスタグを入力します。  
複数のアプライアンスをお持ちの場合は、サービスタグまたはライセンス番号の入力後に <Enter> キーを押して、追加の番号を入力してください。

4. **Activate** (アクティブ化) をクリックします。  
入力した電子メールアドレスがライセンスポータルに登録されていない場合 (新しいライセンスポータルアカウントの場合) は、電子メールを使用してライセンスポータルにアカウントを作成するようプロンプトが表示されます。
5. 情報を入力して、ライセンスポータルにアカウントを作成します。  
登録すると、ライセンスポータルにログオンされます。電子メールアドレスにも、アクティベーション電子メールが送信されます。
6. ライセンスキーのリストが記載された登録の成功通知が表示されます。この通知には、ライセンスキーをアプライアンスに適用するための次の手順が説明されています。
  - a. お使いのアプライアンスの **Core Console** を起動します。
  - b. **Core Configuration (コア設定)** → **Licensing (ライセンス)** と移動します。
  - c. **Change License (ライセンスの変更)** をクリックします。
  - d. 登録の成功通知メッセージに記載されているソフトウェアライセンスキーをコピー & ペーストして、変更を保存します。
7. **OK** をクリックします。

詳細については、<http://documents.software.dell.com/AppAssure/> で入手可能な『*Dell Software License Portal User Guide*』(Dell ソフトウェアライセンスポータルユーザーガイド) を参照してください。

 **メモ:** お使いの DL Appliance 上の使用済み容量が購入したライセンスの容量を超える場合、スナップショット機能が無効化されます。追加のサポートについては Dell Software Group Account Manager までお問い合わせください。

## Rapid Recovery の既知の問題と制限事項

- **メモ:** Rapid Recovery 6.0.1 は現在英語版のみが利用可能です。以前のリリース (AppAssure 5.4.3 など) のローカライズバージョンからアップグレードする場合は、Core Console および PowerShell モジュールを含むアップグレードされた Rapid Recovery コンポーネントが英語でしか利用できないことにご注意ください。

### RUU 実行後に Appliance Backup (アプライアンスのバックアップ) タブのコンテンツが欠落している

- 説明** この問題は、Recovery and Update Utility (RUU) を使用してアプライアンスを回復し、AppAssure Core Web Console を再起動した後で発生します。この問題は、RUU 実行中にウェブブラウザが開かれている場合に発生します。
- 回避策 / 解決方法** ブラウザのキャッシュをクリアし、ブラウザを閉じてから AppAssure Core Web Console を起動します。

### Backup Now (今すぐバックアップ) ボタンを使っても Winbackup 機能が作動しない

- 説明** Winbackup 機能は、**View Windows Backup Policy** (Windows バックアップポリシーの表示) の **Backup now** (今すぐバックアップ) ボタンの使用では強制できません。**Backup now** (今すぐバックアップ) ボタンはポップアップページで非アクティブになっています。
- 回避策 / 解決方法** **Appliance Backup** (アプライアンスバックアップ) ページの **Backup now** (今すぐバックアップ) ボタンをクリックします。

### バックアップステータスメッセージに誤ったリンクが表示される

- 説明** Windows バックアップの作成時に、バックアップが失敗します。**Error Action** (エラーアクション) フィールドに `Retry by clicking on the "Configure" link on the Configuration pane below` (以下の Configuration (設定) ペインの「Configure」(設定) リンクをクリックして再試行してください) という情報が表示されますが、**Configure** (設定) リンクは存在しません。



**メモ:** 回避策を実行する前に、バックアップターゲットディスクが利用可能であることを確認してください。

**回避策 / 解決方法** **Backup Now** (今すぐバックアップ) ボタンをクリックします。

## Google Chrome で Appliance (アプライアンス) タブのコンテンツが欠落している

**説明** Google Chrome バージョン 46 以降でのセキュリティ設定では、Appliance (アプライアンス) タブのコンテンツのロードが許可されません。

**対策** 次の手順を実行して、非セキュアコンテンツのロードをブラウザに許可します。

1. ファイル名を指定して実行 をクリックします。
2. <Chrome Install Directory>\chrome.exe --allow-running-insecure-content と入力します。ここで <Chrome Install Directory> は Chrome のインストールディレクトリです。Chrome のインストールディレクトリは通常 C:\Program Files (x86)\Google\Chrome\Application です。

## RASR USB ドライブを作成するときに Appliance Backup (アプライアンスバックアップ) タブがフリーズする

**説明** RASR USB ドライブを作成するときに、**Appliance Backup** (アプライアンスバックアップ) タブがフリーズします。



**メモ:** Core Console のその他のページは引き続きアクセス可能です。

**回避策 / 解決方法** RASR USB ドライブが作成されるまで待ってから、**Backup** (バックアップ) タブにアクセスしてください。



**メモ:** RASR USB ドライブの作成には約 30 分かかります。

## Appliance Backup (アプライアンスバックアップ) タブで RASR USB ドライブを作成するときにエラーメッセージが表示される

**説明** The following critical files and/or directory paths required for RASR USB drive creation are missing: winre.wim, bootmgr, bmr (RASR USB ドライブ作成に必要な次の重要ファイルおよび/またはディレクトリパスが欠落しています: winre.wim, bootmgr, bmr) というエラーメッセージが Appliance Backup (アプライアンスバックアップ) タブに表示される場合があります。

**回避策 / 解決方法** RASR USB が作成されるまで待機して、ページを更新します。

## Virtual Standby (仮想スタンバイ) タブをクリックするとエラーが表示される

**説明** 複数のエクスポートジョブが同時に実行されているときにサーバーが応答しません。

**回避策 / 解決方法** エラーを閉じ、アクションを再試行します。

## アプライアンスでマウントポイントのひとつが削除された場合、ボリュームの再マウント後に DVM リポジトリを回復できない

**説明** DVM リポジトリが複数のコントローラにプロビジョニングされており、マウントポイントのひとつが削除された場合、アプライアンスでの DVM レポジトリのリカバリが失敗します。

 **メモ:** 初期レポジトリの作成には、PERC H730P Mini コントローラを使用するようにしてください。

**回避策 / 解決方法**

1. リポジトリのストレージ場所となっているボリュームにドライブ文字を割り当てます。
2. 手動で Core 設定を復元する、または **Repositories** (リポジトリ) ペインを介して **Open Existing Repository** (既存のリポジトリを開く) オプションを使用し、リポジトリの有効なパスを指定します。

## Rapid Recovery 6.0 で作成された DVM リポジトリを AppAssure 5.4.3 にマウントできない

**説明** アプライアンスを向上出荷時状態に復元した後、リポジトリの識別方法における変更のために Rapid Recovery 6.0 の DVM リポジトリを AppAssure 5.4.3 にマウントできなくなります。

**回避策 / 解決方法** Rapid Recovery 6.0 にアップグレードしてから、**Open Existing Repository** (既存のリポジトリを開く) オプションを使用します。

リポジトリが Rapid Recovery 6.0 で作成され、そのリポジトリが向上出荷時状態への復元後に AppAssure 5.4.3 に存在する場合は、Rapid Recovery 6.0 に直接アップグレードします。

## Rapid Recovery 6.0 へのアップグレード後、Recovery and Update Utility が再起動後に起動しない

**説明** Dell DL Appliance Recovery and Update Utility (RUU) を使用しているとき、システム再起動後に失敗スクリプトエラーメッセージが表示されます。コアサービスを自動的に開始することができません。

**回避策 / 解決方法** 手動で RUU を再起動し、完了するまで待ってから、デスクトップアイコンを使って Core Console を起動します。

 **メモ:** Core Console は RUU 実行中に起動しないでください。

## Core を AppAssure 5.4.3 から Rapid Recovery 6.0 にアップグレードすると、Core Console が自動的に起動しない

**説明** Core を AppAssure 5.4.3 から Rapid Recovery 6.0 にアップグレードした後、システムを再起動するためのプロンプトが表示されますが、システムの再起動時に startAA.vbs スクリプトは Core Console を開かず、Windows Script Host エラーを表示します。

**回避策 / 解決方法** Rapid Recovery 6.0 へのアップグレード後、デスクトップのアイコンをクリックして手動で Core Console を起動します。

## ESX (i) ホストがオフラインのときに Rapid Recovery 6.0 がエラーを表示する

**説明** ESX (i) 仮想スタンバイのエクスポート後、ESX (i) ホストの状態がオフラインの場合、Unable to connect to the remote server now (現在リモートサーバーに接続できません) というエラーが表示されます。

## ボリュームの再マウント時にエラーが表示される

**説明** DVM リポジトリを回復するときに、Failed read consistency lock on IsSpare\_AC or MediaPresent\_DiskDriveToStorageExtent\_AC Association Cache (IsSpare\_AC または MediaPresent\_DiskDriveToStorageExtent\_AC 関連キャッシュでの読み取り整合性ロックが失敗しました) というエラーが表示されます。このエラーは、リポジトリが複数のコントローラでプロビジョニングされ、マウントポイントのひとつが削除された場合に発生します。

 **メモ:** ストレージのプロビジョニングには、PERC H730P Mini コントローラを使用するようにしてください。

#### 回避策 / 解決方法

1. リポジトリのストレージ場所となっているボリュームにドライブ文字を割り当てます。
2. 手動で Core 設定を復元する、または **Repositories** (リポジトリ) ペインの **Open Existing Repository** (既存のリポジトリを開く) で、リポジトリの有効なパスを指定します。

## AppAssure の既知の問題と制限事項

### RASR USB キーの作成中にエラーが表示される

**説明** RASR USB キーの作成中に、Unable to connect to Dell storage management Web service. Try restarting the Windows Management Instrumentation service, and then restart the Dell Storage Management Web and reload this page (Dell storage management Web service に接続できません。Windows Management Instrumentation サービスを再起動して、Dell Storage Management Web を再起動し、このページを再ロードしてください。) というメッセージが表示されます。

**回避策 / 解決方法** このメッセージは無視してください。

### Appliance (アプライアンス) タブでのポリシー表示の応答が遅い

**説明** **View Policy** (ポリシーの表示) ボタンをクリックしたとき、表示は変わってもダイアログボックスが表示されるまでに時間がかかります。この遅延中に GUI で操作を行うと、<hostname> is not responding (<ホスト名>が応答していません) というメッセージが表示されます。

**回避策 / 解決方法** このメッセージが消えるまで待ちます。

### アプライアンスのホスト名を設定してドメインに追加する時にエラーが表示される

**説明** お使いのアプライアンスのホスト名を変更して同じホスト名でドメインに追加すると、メッセージ、A critical error occurred while trying to configure the hostname and domain settings. Ensure that hostname does not already exist in the domain. If the issue persists, close the AppAssure Appliance Configuration Wizard, delete the configuration file below and restart the wizard. C:\Program Files\Dell\PowerVault\Appliances\DL\FTBU\FTBU.dat If the issue still persist, contact Dell support further assistance.

**回避策 / 解決方法** お使いのアプライアンスを再起動してドメインに参加します。

## AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) が完了しない

説明	AppAssure Appliance Configuration Wizard は、ユーザーがプロセスを終了した、またはデバイスエラーが発生した場合に完了失敗します。
回避策 / 解決方法	デスクトップ上のショートカットを使用して、AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) を再実行します。

## RASR USB ドライブが生成されていない場合、Appliance (アプライアンス) タブの状態が黄色で表示される

説明	RASR USB ドライブは、AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) の実行中に作成することが推奨されます。RASR USB ドライブが作成されていない場合、 <b>health</b> (正常性) ページの Rapid Appliance Self Recovery が黄色で表示されます。これにより、Appliance (アプライアンス) タブのインジケータも黄色になります。
----	--

## 誤った RUU をインストールすると DL アプライアンスの機能がハングする

説明	誤った Recovery and Update Utility (RUU) を DL アプライアンスにインストールすると機能が破損する、または正常に作動しません。
回避策 / 解決方法	すべての DL アプライアンスには固有の RUU があります。正しい RUU をダウンロードするには、 <a href="http://www.Dell.com/support">www.Dell.com/support</a> にアクセスして、 <b>Servers, storage, &amp; Networking</b> (サーバー、ストレージおよびネットワーク設定) → <b>Dell Software DL 4300</b> (Dell ソフトウェア DL 4300 Dell DL1000) → <b>Drivers &amp; Downloads</b> (ドライバおよびダウンロード) → <b>Category</b> (カテゴリ) → <b>IDM</b> → <b>Dell DL4000 Series Appliance (DL4300 and DL4000) Recovery and Update Utility (Dell DL4000 Series Appliance (DL4300 および DL4000) Recovery and Update ユーティリティ)</b> の順にクリックします。

## Appliance (アプライアンス) タブにコンテンツがない

説明	Appliance (アプライアンス) タブをクリックしてもテーブル内のコンテンツが表示されず、The following error occurred during the previous installation attempt (前回のインストール試行中に次のエラーが発生しました) というエラーメッセージが代わりに表示されます。これは通常、RUU で AppAssure Core がアップデートされ、ブラウザで AppAssure Core が開いているときに発生しません。
----	---

**回避策 / 解決方法** ブラウザキャッシュをクリアします。Internet Explorer のインターネットオプションにアクセスし、一般 → 閲覧の履歴 → 閲覧の履歴の削除 の順にクリックして削除を押します。ブラウザを再起動します。

## DL アプライアンスログの収集中に「Collecting... (収集中...)」というメッセージが画面に表示されたままになる

**説明** **Tools (ツール) → Diagnostics (診断) → View Logs (ログを表示)** を選択して、AppAssure Core でログを収集しようとする時、「Collecting... (収集中...)」というメッセージが画面に表示されたままになります。

**回避策 / 解決方法** <F5> を押してブラウザをリフレッシュします。

## エクスポートの実行中に、仮想スタンバイ用の VM 操作ボタンがアクティブになる

**説明** VM エクスポートの進行中に、VM 操作ボタンの **Start (スタート)** および **Add Network Adapter (ネットワークアダプタの追加)** が有効化されています。

**回避策 / 解決方法** これらのボタンは、該当する VM エクスポートが完了するまでクリックしないでください。

## Appliance (アプライアンス) タブが機能しなくなる

**説明** 時折、Appliance (アプライアンス) タブが応答しなくなることがあります。進捗状況を示す回転ボタンが止まります。

**回避策 / 解決方法**

1. **Internet Information Service Manager** を再起動します。
2. 各サービスを指定の順序で再起動します。
  - a. Windows Management Instrumentation
  - b. SRM Web Service
  - c. AppAssureCore
3. ブラウザのキャッシュをクリアします。
4. ページを更新します。

## 非 - RAID 6 構成はお使いのアプライアンスではサポートされていません

AppAssure は RAID-6 構成のみをサポートしているため、ユーザーは非 RAID 6 構成でストレージを手動プロビジョニングすることはできません。

## LSI サービスが起動に失敗する

説明	状況によっては、LSI サービスが失敗したことを説明するイベントが Service Manager に表示されることがあります。
回避策 / 解決方法	このイベントは無視してかまいません。DL アプライアンスの機能または機能性に LSI サービスに依存するものではありません。

## Appliance (アプライアンス) タブで、Safely Remove USB Drive (USB ドライブを安全に取り外す) オプションが動作しない場合がある

説明	<b>Backup</b> (バックアップ) ページで RASR USB キーを作成した後、 <b>Safely Remove USB Drive</b> (USB ドライブを安全に取り外す) オプションが機能しない場合があります。また、タスクバーの <b>Safely Remove Hardware and Eject Media</b> (ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す) を使用して USB キーをマウント解除しようとしても、RASR USB キーが取り出せない場合があります。
----	--

 **注意: USB キーを手動で取り外さないでください。**

回避策 / 解決方法	システムからログオフして、ログインし直します。その後、 <b>Safely Remove USB Drive</b> (USB ドライブを安全に取り外す) またはタスクバーの <b>Safely Remove Hardware and Eject Media</b> (ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す) オプションを使用して、再び USB キーの取り外しを試みます。
------------	--

## OpenManage Server Administrator の正常性ステータスが、Appliance (アプライアンス) タブに正常性ステータスと一致しない場合がある

説明	<b>Appliance</b> (アプライアンス) → <b>Health</b> (正常性) タブの <b>Appliance Hardware</b> (アプライアンスハードウェア) または <b>Storage Hardware</b> (ストレージハードウェア) が、 <b>OpenManage Server Administrator</b> の <b>Health</b> (正常性) ステータスとの一貫性がない場合があります。 <b>Appliance Hardware</b> (アプライアンスハードウェア) ステータスが、 <b>Main System Chassis</b> (メインシステムシャーシ) ステータスと一致しない場合があります。 <b>Storage Hardware</b> (ストレージハードウェア) ステータスが、 <b>OpenManage Server Administrator</b> の <b>Storage Status</b> (ストレージステータス) と一致しない場合があります。
----	--

回避策 / 解決方法	該当なし
------------	------

## UI がアクティブのまま一晩置くと、Appliance (アプライアンス) タブが空になる

- 説明** ユーザーインターフェース (UI) をアクティブにしたまま一晩置くと、Appliance (アプライアンス) タブは空になります。
- 対策** F5 を押してウィンドウをリフレッシュします。

## アップグレード後、アプライアンスタブのステータスが緑色になる

- 説明** システムのアップグレード後、情報は表示されず、Core のアプライアンスタブのステータスが緑色になります。
- 対策** ローカルアドミニストレータとしてログインを試み、問題がなければドメイン管理者として再度ログインし、Service Request Manager (SRM) サービスをセットアップしてドメインアカウントを使ってログインします。

## リポジトリがアンマウントされたときに警告が表示されない

- 説明** リポジトリのマウントが解除されても、警告が表示されません。
- 対策** ボリュームを再度マウントします。詳細については、『*Dell DL4300 Appliance User's Guide*』(Dell DL 4000 Appliance ユーザーズガイド) の「Remounting Volumes」(ボリュームの再マウント) の項を参照してください。

## SATA デバイスをプロビジョニングしようとしても、エラーメッセージが表示されない

- 説明** ストレージをプロビジョニングするために SATA デバイスが使用される場合、エラーメッセージは表示されません。
- 対策** SATA デバイスは Dell DL4300 または MD1400 システムではサポートされていません。

## OpenManage Server Administrator の問題

- 説明** DL4300 アプライアンスにおける各種サブシステム間での複雑な相互作用のため、OpenManage Server Administrator が正しく機能しないことがあります。
- 回避策 / 解決方法** DSM SM データマネージャサービスを再起動します。

## OpenManage Server Administrator が正しくインストールされない

- 説明** リカバリおよびアップデートのユーティリティを使用すると、稀に OpenManage Server Administrator が正しくインストールされないことがあります。
- 回避策 / 解決方法** **Start** (スタート) → **Control Panel** (コントロールパネル) → **Uninstall a program** (プログラムのアンインストール) → **Dell OpenManage Systems Management Software** (Dell OpenManage Systems Management ソフトウェア) をクリックして手動で OpenManage を削除してから、ソフトウェアを手動で再インストールします。

## OpenManage Server Administrator がステータスのアップデートに失敗する

- 説明** OpenManage Server Administrator は時々ステータスのアップデートに失敗し、OpenManage Server Administrator のステータスが、**Appliance** (アプライアンス) タブ **Overall Status** (全体のステータス) 画面に表示されるステータスと一致しないことがあります。
- 回避策 / 解決方法** **Server Manager** → **Tools** (ツール) → **Services** (サービス) と移動して、**DSM SA Data Manager** サービスを停止してから再開します。
-  **メモ: Services (サービス)** ウィンドウによってほかのサービスも再度開始するよう指示されることもあります。サービスを再度開始した後もまだ問題が残るようであれば、アプライアンスを再起動します。

## タスクが例外エラーで失敗する

- 説明** Task failed with exception (タスクが例外で失敗) のエラーメッセージだけでそれ以外の情報がない場合は、一時的な Windows イベントであることを示す場合があります。
- 回避策 / 解決方法** 処置を再試行します。この処置はこれ以上のエラーを生じることなく完了します。

## Recovery and Update Utility の完了に時間がかかる

- 説明** ドメイン参加中に Recovery and Update Utility を実行すると、所要時間が 90 分を超えます。
- 回避策 / 解決方法** Recovery and Update Utility の処理を早めるには、ローカル管理者としてマシンにログインします。ドメインにはログオンしないでください。Recovery and Update Utility を開始してからドメインにログオンします。

## MD1400 エンクロージャの予想外の交換による不正確な報告

説明	MD1400 エンクロージャの予想外の交換は、いくつかのツールにおいて誤った結果を生じる原因となる場合があります。
回避策 / 解決方法	エンクロージャ設定の修正後、 <b>AppAssure Appliance Configuration Wizard</b> (AppAssure アプリケーション設定ウィザード) を再開し、すべての手順を完了してください。

## AppAssure のデスクトップショートカットがドメインユーザーに表示されない

説明	管理者権限のないドメインユーザーに対し、AppAssure ソフトウェアのデスクトップショートカットが表示されません。
回避策 / 解決方法	AppAssure ソフトウェアのデスクトップショートカットは、管理者権限のあるユーザーにのみ表示されます。アプライアンスにローカル管理者、または管理権限を持つユーザーとしてログオンしてください。

## ホスト名を変更しても Core Console ショートカットがアップデートされない

説明	システム (AppAssure Core Console がインストール済み) のホスト名の変更後、 <b>Start (スタート) → AppAssure → Core (コア)</b> にある AppAssure Core Console のショートカットが、新しいホスト名でアップデートされません。
原因	この問題は、AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) を使用してシステムのホスト名を変更した後、AppAssure Console を閉じてそのデスクトップショートカットを削除した場合に発生します。
回避策 / 解決方法	AppAssure Core Console のデスクトップショートカットを削除しないでください。

## 設定に NIC が選択されていないときにエラーが表示される

説明	NIC をまったく選択せずにアプライアンスを設定するとエラーが表示されます。
回避策 / 解決方法	アプライアンスの設定中、イーサネットポートを少なくともひとつ接続してください。 <ol style="list-style-type: none"><li>1. 表示されたエラーメッセージを閉じます。</li><li>2. アプライアンスを再起動します。</li><li>3. 少なくともひとつのイーサネットポートを接続します。</li><li>4. AppAssure アプライアンス設定ウィザードを開始し、設定用に少なくともひとつの NIC ポートを選択します。</li></ol>

## メッセージを閉じることができない

説明	ストレージプロビジョニングでのエラー発生後に AppAssure アプライアンス設定ウィザードを閉じようとする、待機するように促すプロンプトが表示されます。アプライアンスが応答しなくなり、表示されたメッセージを閉じることができません。
回避策 / 解決方法	システムのタスクマネージャを使用して AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) を閉じてください。AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) を再起動して設定を完了します。

## ライセンスキーのインストールの失敗

説明	各種コンポーネント用のライセンスキーのインストールが失敗しても、アプライアンスに <b>Software License</b> (ソフトウェアライセンス) に対して赤い <b>X</b> が表示されません。
回避策 / 解決方法	ライセンスキーのインストールを再度実行してください。

## ライセンスキーのインストールと AppAssure アプライアンス設定ウィザードが失敗する

説明	<p>AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) を使用する際に不正なデータ (例えば、不正なホスト名、ドメイン資格情報など) を入力すると、アプライアンスの設定に失敗します。</p> <p>AppAssure サービスは自動的に再起動されないことから、AppAssure アプライアンス設定ウィザードが再開後も継続的に失敗する場合があります。</p> <p>AppAssure サービスが実行されていないと、ライセンスキーのインストールも失敗します。</p>
回避策 / 解決方法	<ol style="list-style-type: none"><li>1. <b>AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード)</b> を閉じます。</li><li>2. AppAssure サービスを手動で再起動します。</li><li>3. <b>AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード)</b> を再開します。</li></ol>

## ライセンス設定の失敗時に誤ったメッセージが表示される

説明	<p>ライセンス設定の失敗時に、次の誤ったエラーメッセージが表示されます。</p> <p>A critical error occurred. Click 'Back' to try again. If the issue persists, contact Dell Support for assistance</p>
----	---

#### 回避策 / 解決方法

1. **AppAssure Appliance Configuration Wizard** (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) を閉じます。
2. AppAssure サービスを手動で再起動します。
3. **AppAssure Appliance Configuration Wizard** (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) を再開します。

## 画面解像度を変更してもストレージプロビジョニングウィンドウのサイズが変わらない

#### 説明

ストレージプロビジョニングウィンドウが開いていると、画面解像度を変更しても、ストレージプロビジョニングウィンドウのサイズが、アップデートされた画面解像度に応じて変更されません。

#### 回避策 / 解決方法

- 最低画面解像度 1024 x 768 を使用してください。
- AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) の実行中は画面解像度を変更しないでください。
- AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) を閉じてから再開してください。

## 困ったときは

### デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。アクティブなインターネット接続がない場合は、ご購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデル製品カタログで連絡先をご確認いただけます。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。販売、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスの問題に関するデルへのお問い合わせは、[software.dell.com/support](https://software.dell.com/support) にアクセスしてください。